平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場会社名　木村化工機株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6378　URL　http://www.kcpc.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小林　康眞
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長　(氏名) 谷本　周平　TEL 06-6488-2501

四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,207	△20.4	35	△92.0	24	△94.5	△19	―
25年3月期第2四半期	9,056	40.3	446	334.0	450	263.4	243	501.3

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　54百万円　(△72.1%)　25年3月期第2四半期　196百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△0.94	―
25年3月期第2四半期	11.85	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,753	7,042	42.0
25年3月期	19,690	7,091	36.0

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　7,042百万円　25年3月期　7,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	―	―	5.00	5.00
26年3月期	―	―			
26年3月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,815	△14.2	204	△78.5	190	△80.5	50	△90.6	2.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料 P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	20,600,000 株	25年3月期	20,600,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	19,721 株	25年3月期	19,721 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	20,580,279 株	25年3月期2Q	20,580,344 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．　当四半期決算に関する定性的情報 …… 2

（１）経営成績に関する説明 …… 2

（２）財政状態に関する説明 …… 3
（キャッシュ・フローの状況の分析） …… 3

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3

２．　サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4

３．　四半期連結財務諸表 …… 5

（１）四半期連結貸借対照表 …… 5

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 11

４．　補足情報 …… 12
（受注、売上及び受注残の状況）…… 12

１．　当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策が実体経済に徐々に波及した結果、消費者マインドの改善を背景に個人消費は底堅く推移し、全般的に景気は緩やかな回復基調に転じました。しかしながら、製造業の設備投資につきましては、一部に持ち直しの動きがみられたものの、全般的に低調に推移しました。

上記の経済状況にあって、当社のエンジニアリング事業部および化工機事業部が主要顧客とする化学機械装置関連業界につきましては、企業が引き続き海外製造拠点を維持するとともに現地仕入割合を高めたため、国内の設備投資は抑制されました。また、エネルギー・環境事業部が関係する原子力機器関連業界につきましては、全般的に停滞しました。

このような状況下、当社グループは、顧客の海外案件の受注にも努めるとともに、国内においては、中長期的に堅調な投資が見込まれる省エネルギー関連の顧客や医療・食品分野の顧客等への営業活動に注力いたしましたが、当第２四半期連結累計期間における業績につきましては、受注高は 6,717百万円と前年同四半期に比べ 3,294百万円の減少（△32.9%）、売上高は 7,207百万円と前年同四半期に比べ 1,849百万円の減少（△20.4%）となりました。

損益面につきましては、コスト管理を一層徹底し、効率的な事業運営に努めましたが、受注競争激化による原価率の上昇や円安による原材料費の高騰等により、当第２四半期連結累計期間の営業利益は35百万円と前年同四半期に比べ 410百万円の減少（△92.0%）、経常利益は24百万円と前年同四半期に比べ 425百万円の減少（△94.5%）となり、その結果、四半期純損失19百万円（前年同四半期は四半期純利益 243百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①　エンジニアリング事業

化学機械装置の設計・製作・据付工事を行うエンジニアリング事業につきましては、米国景気の堅調な回復と円安による輸出環境の改善を背景に企業収益が改善した顧客もありましたが、全体としては、設備投資に慎重な姿勢が目立ちました。このような状況下、化学プラント、産業機械、省エネルギーの各分野はいずれも激しい受注競争となりました。とりわけ、単体機器につきましては、受注競争が一層激化し、厳しい価格競争を余儀なくされました。設備関連につきましても、主に中長期的に堅調な投資が見込まれる省エネルギー化設備の受注拡大に努めましたが、厳しい結果となりました。

以上の結果、受注高 1,985百万円と前年同四半期に比べ 1,868百万円の減少（△48.5%）、売上高 2,629百万円と前年同四半期に比べ 1,736百万円の減少（△39.8%）となり、セグメント損失(営業損失) 134百万円（前年同四半期はセグメント利益(営業利益)72百万円）となりました。

②　化工機事業

化学機械装置の現地工事、メンテナンス業務を行う化工機事業につきましては、顧客の国内向け設備投資および保全費用の抑制により厳しい状況となりました。このような状況下、定期的なメンテナンスにつきましては、繊維、食品、化学、非鉄等の顧客の工場敷地内に当社従業員が常駐して、営業活動に注力し、定修工事や日常保全工事等各種工事を受注することができました。

以上の結果、受注高 3,047百万円と前年同四半期に比べ 492百万円の減少（△13.9%）、売上高 3,103百万円と前年同四半期に比べ 398万円の増加（＋14.7%）となり、セグメント利益（営業利益） 183百万円と前年同四半期に比べ 151百万円の減少（△45.1%）となりました。

③　エネルギー・環境事業

主として原子力機器の設計・製作・設置工事を行うエネルギー・環境事業につきましては、政府の方針として、エネルギーの長期安定供給が提示され、原子力発電利用および核燃料サイクルの維持・継続が決定され、安全性が確保された原子力発電所から順次再稼働する方向付けはされましたが、業界の業務量は、引き続き減少傾向のままでした。

このような停滞状況下、受注高 1,684百万円と前年同四半期に比べ 933百万円の減少（△35.7%）、売上高 1,474百万円と前年同四半期に比べ 511百万円の減少（△25.8%）となり、セグメント損失(営業損失)13百万円（前年同四半期はセグメント利益(営業利益)38百万円）となりました。

なお、当社グループは、通常の営業形態として、年度末に完成する工事の割合が大きいため、各四半期の生産、受注及び販売の状況の間に著しい相違があり、四半期毎の業績に季節的変動があります。

（２）財政状態に関する説明

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により 624百万円増加、投資活動により95百万円減少、財務活動により 1,034百万円減少したこと等により、当第２四半期連結累計期間期首に比べ 511百万円減少（前年同四半期末比 775百万円減少）し、当第２四半期連結会計期間末には 1,665百万円となりました。

①　営業活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間において営業活動により資金は 624百万円増加し、前年同四半期に比べ68百万円流入が減少致しました。

この要因として、前年同四半期に比べ、売上債権の減少による流入は大きくなったものの、仕入債務の減少による流出も大きくなったこと、及び、前受金が前年同四半期の増加から当四半期は減少に転じており、前受金による流入がなくなったこと、並びに、税金等調整前四半期純利益が減少したことなどが挙げられます。これらにより、結果として、営業活動による流入が若干減少することとなったものであります。

②　投資活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間において投資活動により資金は95百万円減少し、前年同四半期に比べ 20百万円流出が増加致しました。主な要因として、定期預金の預入による支出は減少したものの、投資有価証券の取得による支出及び有形固定資産の取得による支出が増加したことが挙げられます。

③　財務活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間において財務活動により資金は 1,034百万円減少し、前年同四半期に比べ 896百万円流出が増加致しました。主な要因として、短期借入金の減少つまり返済及び長期借入金の返済が増加したこと、並びに長期借入れによる収入が減少したことが挙げられます。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第３および第４四半期につきましては、景気は緩やかに回復すると期待されますので、当社グループは、顧客の設備投資に係るニーズを即時に把握する営業活動を展開し、受注高および売上高の増大に努めるとともに、事業の合理化・効率化を推進してまいります。

業績予想につきましては、平成25年５月14日に公表いたしました連結業績予想から修正し、売上高15,815百万円、営業利益 204百万円、経常利益 190百万円、当期純利益50百万円としております。詳細は、平成25年11月14日に公表いたしました、業績予想の修正に関するお知らせをご覧下さい。

２．　サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,176	1,665
受取手形及び売掛金	9,091	6,372
仕掛品	1,073	1,074
原材料及び貯蔵品	17	25
繰延税金資産	203	212
その他	644	856
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	13,199	10,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,309	1,269
機械装置及び運搬具（純額）	86	79
工具、器具及び備品（純額）	37	36
土地	3,675	3,675
リース資産（純額）	27	28
建設仮勘定	－	0
有形固定資産合計	5,135	5,090
無形固定資産	87	57
投資その他の資産		
投資有価証券	727	913
繰延税金資産	494	446
その他	53	51
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	1,269	1,406
固定資産合計	6,491	6,554
資産合計	19,690	16,753

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,159	3,880
短期借入金	1,261	542
リース債務	52	28
未払法人税等	283	11
前受金	1,329	1,141
賞与引当金	294	274
役員賞与引当金	9	－
完成工事補償引当金	149	61
その他	543	436
流動負債合計	9,084	6,377
固定負債		
長期借入金	868	695
リース債務	21	22
退職給付引当金	1,291	1,283
役員退職慰労引当金	141	139
資産除去債務	58	58
再評価に係る繰延税金負債	1,132	1,132
固定負債合計	3,515	3,332
負債合計	12,599	9,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,030	1,030
資本剰余金	103	103
利益剰余金	3,791	3,669
自己株式	△5	△5
株主資本合計	4,918	4,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	199
繰延ヘッジ損益	15	0
土地再評価差額金	2,047	2,047
その他の包括利益累計額合計	2,172	2,246
純資産合計	7,091	7,042
負債純資産合計	19,690	16,753

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	9,056	7,207
売上原価	7,692	6,214
売上総利益	1,364	992
販売費及び一般管理費	918	957
営業利益	446	35
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	11
受取賃貸料	5	5
その他	6	5
営業外収益合計	24	21
営業外費用		
支払利息	8	7
為替差損	3	16
支払手数料	5	7
その他	3	0
営業外費用合計	19	32
経常利益	450	24
特別利益		
投資有価証券売却益	－	0
役員退職慰労引当金戻入額	2	－
特別利益合計	2	0
特別損失		
投資有価証券評価損	9	－
ゴルフ会員権評価損	7	－
特別損失合計	16	－
税金等調整前四半期純利益	436	25
法人税等	192	44
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	243	△19
四半期純利益又は四半期純損失（△）	243	△19

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	243	△19
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	89
繰延ヘッジ損益	0	△15
その他の包括利益合計	△47	74
四半期包括利益	196	54
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	196	54

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	436	25
減価償却費	99	103
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	36	△20
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△20	△9
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△5	－
完成工事補償引当金の増減額（△は減少）	△2	△87
退職給付引当金の増減額（△は減少）	17	△8
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2	△1
受取利息及び受取配当金	△12	△11
支払利息	8	7
為替差損益（△は益）	3	5
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△0
投資有価証券評価損益（△は益）	9	－
ゴルフ会員権評価損	7	－
売上債権の増減額（△は増加）	252	2,719
たな卸資産の増減額（△は増加）	△37	△8
その他の資産の増減額（△は増加）	△55	△206
仕入債務の増減額（△は減少）	△103	△1,280
前受金の増減額（△は減少）	402	△187
その他の負債の増減額（△は減少）	6	△103
小計	1,044	937
利息及び配当金の受取額	12	11
利息の支払額	△8	△6
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△355	△316
営業活動によるキャッシュ・フロー	693	624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25	△44
無形固定資産の取得による支出	△4	△1
投資有価証券の取得による支出	△0	△50
投資有価証券の売却による収入	－	1
貸付金の回収による収入	7	－
定期預金の預入による支出	△50	－
その他の支出	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75	△95

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	△680
長期借入金の返済による支出	△201	△311
長期借入れによる収入	200	100
リース債務の返済による支出	△34	△39
配当金の支払額	△102	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138	△1,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	476	△511
現金及び現金同等物の期首残高	1,964	2,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,440	1,665

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

該当事項はありません

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エンジニアリング事業	化工機事業	エネルギー・環境事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,365	2,705	1,985	9,056	―	9,056	―	9,056
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	1,012	―	1,025	―	1,025	△1,025	―
計	4,379	3,717	1,985	10,082	―	10,082	△1,025	9,056
セグメント利益	72	335	38	446	―	446	―	446

（注）１．調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エンジニアリング事業	化工機事業	エネルギー・環境事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,629	3,103	1,474	7,207	―	7,207	―	7,207
セグメント間の内部売上高又は振替高	96	373	―	469	―	469	△469	―
計	2,726	3,476	1,474	7,677	―	7,677	△469	7,207
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△134	183	△13	35	―	35	―	35

（注）１．調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

４．　補足情報

（受注、売上及び受注残の状況）

期別	前第２四半期連結累計期間 自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日		当第２四半期連結累計期間 自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日		前連結会計年度 自　平成24年４月１日 至　平成25年３月31日	
セグメント	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
（受注高）						
エンジニアリング事業	3,854	38.5	1,985	29.6	4,947	32.8
化工機事業	3,539	35.3	3,047	45.3	6,818	45.2
エネルギー・環境事業	2,618	26.2	1,684	25.1	3,328	22.0
合　計	10,011	100.0	6,717	100.0	15,094	100.0
（売上高）						
エンジニアリング事業	4,365	48.2	2,629	36.5	8,087	43.9
化工機事業	2,705	29.9	3,103	43.1	6,346	34.4
エネルギー・環境事業	1,985	21.9	1,474	20.4	3,992	21.7
合　計	9,056	100.0	7,207	100.0	18,426	100.0
（受注残高）						
エンジニアリング事業	6,582	37.8	3,310	26.2	3,954	30.1
化工機事業	2,048	11.7	1,630	12.9	1,687	12.8
エネルギー・環境事業	8,798	50.5	7,712	60.9	7,502	57.1
合　計	17,430	100.0	12,654	100.0	13,144	100.0

（注）　輸出状況	（前第２四半期連結累計期間）		（当第２四半期連結累計期間）		（前連結会計年度）	
輸出関係売上高(百万円、%)	1,965	21.7	1,127	15.6	4,313	23.4
エンジニアリング事業	1,643	18.1	1,050	14.6	3,687	20.0
エネルギー・環境事業	322	3.6	76	1.0	626	3.4